

ソーシャルメディアに対するジオタギングを利用した降水状況の解析

北本 朝展^{1,2}

¹ 国立情報学研究所, ² JSTさきがけ

<http://agora.ex.nii.ac.jp/futtekitter/>, <http://agora.ex.nii.ac.jp/GeoNLP/>

1. まえがき

事実: 降水イベントはTwitter等のソーシャルメディアの主要な話題の一つである。

問: 人間センサの観測によって、客観的な気象観測を補う情報を得ることは可能か？

条件: 気象センサの劣化版ではなく、新しい情報が得られるようにしたい。

提案1: 雨雪判別への適用（降水センサだけでは捉えられない）

提案2: 主観的で感性に訴える情報や警報（人々の心により響く）

3. ジオタギング

柏で雨なう。

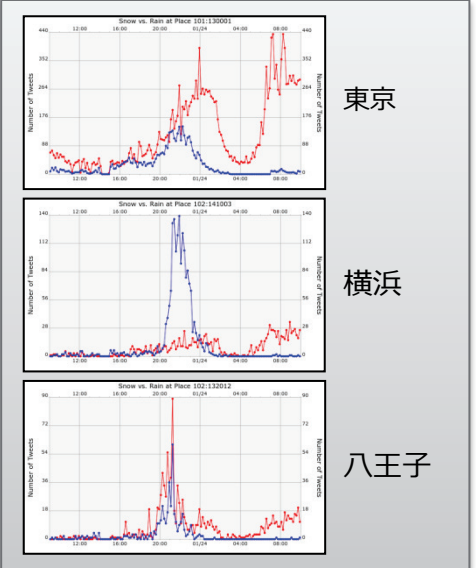
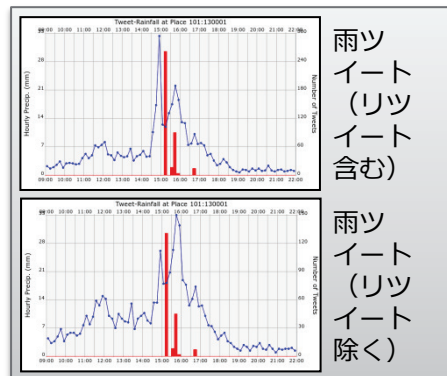
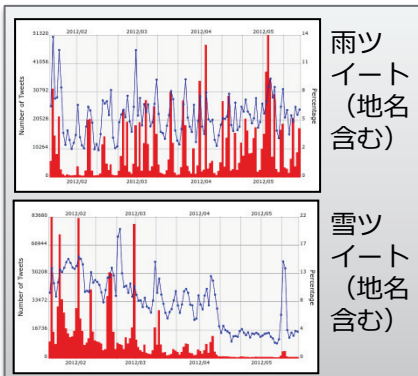
↓ ジオタギング
(Time, Latitude, Longitude, "rain")

横浜で雨なう。

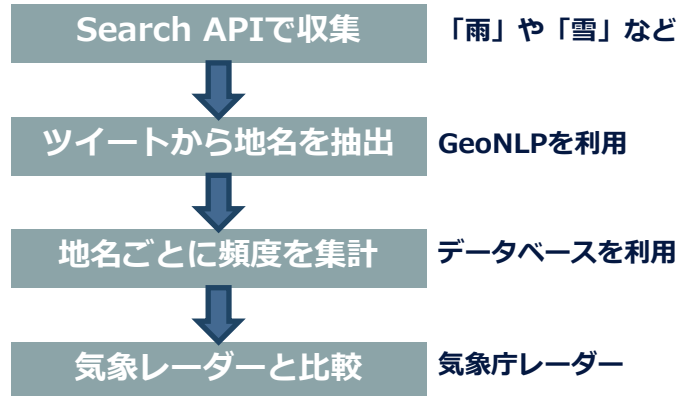
↓ ジオタギング
どの横浜？ 神奈川、青森、複数候補が見つかる。

テキスト中の文脈を用いて曖昧性を解消する実用的ツールとして **GeoNLP**(<http://agora.ex.nii.ac.jp/GeoNLP/>) を開発中（オープンソース化予定）。地名辞書の増強には協力が必要。

5. 結果



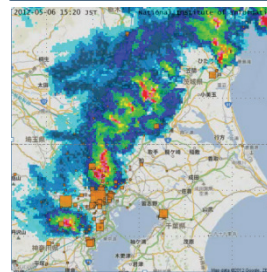
2. 手法



ウェブサイトは10分ごとにリアルタイム更新。

4. ソーシャル・科学ストリーム

問：なぜ降水状況？ 答：科学データで検証可能。



ソーシャルストリームを科学ストリームで検証する。科学ストリームをソーシャルストリームで増強する。

品質管理に機械学習（教師あり学習）が有効利用できる？